

リリースノート

<更新履歴>

2016/10/20	Ver1.1.10a	低レベルノイズフィルタ機能(CH漏れ現象対策追加)
2016/11/23	Ver1.1.10b	GFSKをリリース デバイス認識コード エラーコーディングレート設定機能追加 Optimize機能追加
2016-11-29	Ver1.1.10b	低レベルノイズフィルタ機能・選択機能追加
2017/1/17	Ver1.1.11	自動スタートモード追加 シリアル出力の改行+ラインフィード(CR+LF)の出力有無の設定追加
2017/3/2	Ver1.1.11a	コーディングレート表記バグ修正
2017/5/29	Ver1.1.11b	自動中継機能のバグ修正→中継機ルートが確立した状態から中継機とリンクしている親機の電源を切ってもリルートが発生しない現象を改修 総和時間の設定が、gコマンドとpコマンドでダブっていたので、pコマンドに統一 ACK待ち時間を最大5秒から10秒に変更
2018/2/1	Ver2.0.00	ダイナミックATコマンド機能追加 キャリアセンス時間可変設定対応 電波送信出力を1dBm単位に出来る様に変更
2018/2/24	Ver2.0.01	UART設定をFlash保存して自動スタート時に読み出せる様に対応
2018/4/20	Ver2.0.02	ブロードキャストマルチホッピング機能修正 (再配信機能3段)
2018/4/27	Ver2.0.03	ブロードキャストマルチホッピング仕様を旧仕様に戻す リルート速度向上改善
2018/5/24	Ver2.0.04	ATコマンドモード機能改善(内部処理高速化)
2018/6/5	Ver2.0.05	ATコマンドモードFSK/GFSK機能改善
2018/6/28	Ver2.0.06	RF送信機処理改善 SAWフィルタ減衰分の送信出力アップ対応 ブロードキャストマルチホッピング機能設定を自動スタート対象に組込
2018/8/17	Ver2.0.07	自動中継機能バグ修正 キャリアセンス時間計算バグ修正 コンフィグレーション表示バグ修正 AES機能バグ修正 受信時の受信データ長出力設定機能追加 ATコマンド機能追加 (AES機能、受信時受信データ長出力、ユニークID取得)
2018/10/9	Ver2.0.08	無線送信ペイロードサイズの拡大 ATコマンドにおける送信パワー設定のバグ修正 ホットスワップ機能の追加 (ATコマンドモード時のみ)
2018/10/15	Ver2.0.08a	デバッグ出力設定を3種類に変更 (0:なし、1:デバッグテキスト出力、2:デバッグステータスコード出力) 受信データの出力方法を追加
2018/11/21	Ver2.0.08b	ATコマンドに受信データ出力方法を追加
2018/12/6	Ver2.0.08c	ホッピングモードに「未使用」を追加。ATコマンドにも対応済み。
2018/12/6	Ver2.0.08d	FSKモードにおけるデータ送信モード選択のバグを修正。
2019/1/2	Ver2.0.08e	自動中継モード時のビーコンパケット解析バグを修正。
2019/3/15	Ver2.0.08f	パケット中継条件のバグを修正。
2019/4/3	Ver2.0.08g	FSK/GFSKのWhitening効果の修正。 旧バージョンとのACK受信互換性の修正。
2019/7/12	Ver2.0.08h	送信可能ペイロードサイズの自動設定有無を設定コマンドとATコマンドに追加。 手動スタートモード時に起動から約10秒で設定モードとならなかった場合に自動スタートするように変更
2019/8/30	Ver2.0.09b	ATコマンド不具合修正
2019/9/1	Ver2.0.09c	FSK/GFSKにWhitening機能の選択有無機能を追加
2019/9/11	Ver2.0.09d	FSK 300Kbps使用時の安定性向上対策追加
2019/9/17	Ver2.0.09d2	Stackサイズを4Kに変更
2019/10/7	Ver2.0.09d3	自動スタート後にFlashROMから読み出す設定データのデータチェック処理強化
2019/10/7	Ver2.0.09d3	自動スタート無しバージョンをリリース
2019/10/14	Ver2.0.09e	自動検査プログラムリンク
2019/11/12	Ver2.0.09e3	EEPROMから設定値を読み出せないバグを修正 (受信時の送信元ID出力有無設定、ホッピングモード設定、デバッグモード有無設定) 「p」コマンドを復活
2019/12/10	Ver2.0.09e4	現設定値表示の固定中継ルートバグを修正 送信時ACK要求フラグ成立条件におけるバグを修正
2019/12/18	Ver2.0.09e5	ATコマンド受信タイムアウトのエラー処理を追加
2020/1/10	Ver2.0.09e6	AESコマンド (AT) のパラメータ変更
2020/6/9	Ver2.0.09e7	AES暗号化対象範囲のペイロードサイズを226byteまで拡張
2021/2/10	Ver2.0.09e8	送信モードに、無変調連続送信モードと、変調連続送信モードを追加
2021/5/13	Ver2.0.09e9	キャリアセンス設定でリトライ回数を8回に設定した時に、設定状態の確認表示が正しく表示されない不具合を改修
2021/4/13	Ver2.1.0	ATコマンドモードでの中継モード設定で固定中継ルートが設定できないバグを修正 (2.1.0で統合した)
2022/12/10	Ver2.1.1	uartドライバに低層_write()機能追加 ATコマンドモードでの応答出力をprintfから「USART_DataOutput()」に変更 (9600bpsでの文字出力抜けバグ対応) teratermからコピー&ペーストされた際の文字列を受け取る処理を追加 デバイスタイプの読み出しコマンドを追加 iコマンドに、周辺ノイズ表示モードを追加
2022/12/20	Ver2.1.2	RM-92C1のデバイスコード追加
2023/1/12	Ver2.1.2a	RM-92C1のデバイスコード変更
2023/8/4	Ver2.1.3	拡張PANID使用時のチェックサムコードが不一致になるケースについて修正 Sleep突入直前にRFアンテナスイッチの切替え時GPIO処理を追加(消費電力値の低減効果) ※RM-92Aに有効
2023/9/22	Ver2.1.4	ATコマンドでExpand-PANIDを有効設定で受信したデータのUART出力時に0x00コードが付随して出力してしまう不具合を修正 ATコマンドモードのデバッグモードの指定コマンドで、デバッグステータスコードの出力に対応 ATコマンドモードと通常モードでFSKの通信速度を指定できる範囲を統一
2024/8/6	Ver2.1.5	使用チャンネル単位別のチャンネル設定範囲とBandwidth設定範囲の整合性チェックを追加
2024/9/26	Ver2.1.6	高レベルサージによるRFフリーズ対策機能追加
2025/4/9	Ver2.1.7	ATコマンドモード 0x0022 を追加。パラメータは無し。Resultに総和の残り時刻を秒単位で設定して返す機能を追加。